

日本無産黨關係者 十四名の寢込を襲ふ

大物は大井川・加藤木 人民戦線に没して運動

平警察署では去る十五日午後検査者氏名
前一時警察部からの通牒に
より特高係以下十名の巡查
の召集を行ひ管内に於ける
日本無産黨、日本労働組合
全国評議會關係者の一齊檢
査を行ひ左の十四名の寢込
を襲つて平署に引致し以
警察部特高課次席横田警部
古山部長外一名が平署に出
張取調べ中であつたが取調
べが一段落となつたので二
十二日午前十一時記事解禁
となつた。

△大井川幸隆(三〇) 平市仲町居住者、白馬字盤打五十一生れ、警城之先驅、平市市會議員、小名濱町補習學校卒業後、信夫郡松川校代用教員をなして十年前から無産運動に入り、常磐炭礦労働争議に際して山代吉宗と共に活躍、現在日本無産黨平支部創立準備會責任者。

△加藤木誠一(三九) 茨城縣茨城郡石塚町一四三三生れ、内郷村宮宇瀧房住、無職、村會議員、日本無産黨員、元磐城炭礦坑夫で飲食店を経営し、社大黨に入り日本無産黨に加入し活躍。

△鈴木清治(四七) 宮城縣氣仙郡米崎村字米崎三二六生れ、内郷村綴字七反田元磐炭坑夫、社大黨員。

△内脇春藏(三四) 元坑夫、双葉郡富岡町、濱宇連山生れ、好問村、曹小田坑夫。

△石川武夫(三三) 平市南町七一、目下古銀、冷町十四居住、無職。

電話六三三番
電話五九二

平市大工町

阿部石炭商店

薪炭大暴騰ノ折カラ御家庭ノ經濟燃料トシテ御勵メ致シマス

平 驛 前

日 二 廿

編輯發行 阿部石炭商店
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一部金貳圓 一月金貳圓
廣告料 一行十二字 廿五字
日刊(日曜除日) 翌日休刊

清内生れ、好問村北好問字杉平日曹小田坑夫。
△古川繁六(三一) 福島市清町二七生れ、平市北白銀町四二東北商工時報發行所。
△佐藤新二(二二) 平市下河原町平活版職工。
△淺野新一(二八) 大分縣南海郡佐伯町三ノ三五三三生れ、赤井村高萩運送店人夫。
△馬場京助(四五) 北町八九生れ、市内村木村三二居住。
△丸山春藏(五二) 福島市戸の内一九生れ、市内五丁目十六「磐城民友新聞」發行所、嘗て好問村で坑夫となり日本無産黨を組織し町會議員選挙に出馬した事がある。

本部の公認を得るため 八月以來擴大運動

平署管で検査された十四名から本部と連絡をとり平支部の治安維持法抵觸程度は更部準備會責任者として活動二、高久村下高久小銀治地に参加して居り二十日第一母の寫眞、妹の贈ものを背裏に収めて益々元氣旺盛、一兩日中再び〇〇方面へ出動の豫定でいま待機中、母上様の御病氣はいかがですかかと母を見舞ふ手紙が着き親戚や部落の人達はこの節婦の死を秘めて只管忠告の武運を祈つてゐる。

節婦の名にそむかず 死す迄國を思ふ

草野村の渡邊ハナさん

市内田町の木工工場地に於ける今後復舊問題に關しては市將來の保安上大の關切を以て凝視されてゐたが激重當日進堂製材所では嚴重なる防火壁を設け從來の場所に於て操業を繼續し、更に佐藤三平氏は心中深く期する處あり赤井驛前に百六十坪の新工場を建設し二十一日上棟式を舉行した。

佐藤氏の取引地は主として中通り方面なので今後の原材運搬上その他弊る新工場が幾多の便宜あるものと観られてゐる。

洋服店 正札堂
電話四三六番

本町三丁目(梅原米穀店隣)

お洋服は今が買時です

生地は優秀、柄は流行、而も値段は超安値。此の三拍子揃つた弊店の勉強振りをあためしを然も仕立はお眺へと同様、寸法は特別に各種取揃へ、必ず御満足の載ける當店自慢の大サ!

赤井驛前に移轉

佐藤氏の製材工場

市内田町の木工工場地に於ける今後復舊問題に關しては市將來の保安上大の關切を以て凝視されてゐたが激重當日進堂製材所では嚴重なる防火壁を設け從來の場所に於て操業を繼續し、更に佐藤三平氏は心中深く期する處あり赤井驛前に百六十坪の新工場を建設し二十一日上棟式を舉行した。

人絹の火事

二十日午前七時五十分頃錦村昭和人絹會社分結工場から發火したが天井十坪を焼いたのみで鎮火した。

△乞食凍死 千葉縣山形市に於て二十日午前二時頃洞内凍死した。

不具を悲觀し 爆薬自殺

田村村に今度二十日夜九時五十分頃ダイナマイト自殺事件が起つた、去る八日の連れ子爆殺事件がまだ取調べ中のことと植田署では死因を重大視し同夜柴田司法主任が前田醫師ととも現場で死體検視の結果、勿來町生れ同村寺下五二中野丈吉三男土工明(二〇)で父親と共に上遠野村の鑛山工事場で働いてゐた真面目な青年だが、四歳の時左眼を失明、軍隊に入隊後常習に悲觀してゐた殊に十月十六日長兄大力君が支那事變に出征し次兄忠治君(二二)も満鐵工として出陣、同人も同工場に志願したが眺ねられたことか、遂に人並の働きも出来な

平市會 二十三日召集

平市會は二十三日午後二時召集

福島縣平市

電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

鹽屋

慰文堂

ウエル萬年筆
ムツリローニペン
ゼネラルカーボン紙

優勝印高級ソロバン
ドレコ帳簿
デリカ人名簿

代理店

募集廣告

男 工數名
女 右至急募集す

加納活版所
委細面談

加納活版所

露出虫の息となつてゐるのを母親はつきん(四一)が發見手當を加へたが翌一日午前一時絶命したものである。所でも意外な面持である。母親はつきんは涙と共に裏の方で萬歳といふのと同時に大砲のやうな音がしてやがて震動が始まつたので飛出した始末です。明は親思ひで出先からきつと柿一つでも買つて來る可愛い子でした。

夕刊 磐城時報

債券 賣買
金 融
質物一般 多田井商店
平市大工町
電話五九一

魚清自慢の
なべ料理 始めました
鳥なべ。ちりなべ
よせなべ。ねぎまなべ
かきなべ。はもなべ
あんこなべ
出前も迅速に致します
平二番 電話六三三番

御意の御禮に！
はーまーントウエー
はー今や...世界的流行であります
お値段 一三四...全部
時間間の経済と能率増進
時代の要求するパーマメント
今が絶好のチャンス
現状維持では...
時代に取残されませう。
御結婚御着付 鏡後を守る御婦人方への
和洋結髪 **大サービス**に
オゾン美顔術 最新の美容法を研究し
美 爪 術 その奥義を
白 赤 毛 染 修得致して参りました。

水野化粧院
水野冬子
平市駅前 電話六七八
自宅 電話五二五

日三廿
印刷所 加納活版所
発行所 磐城時報社
一部金銭 一ヶ月金計
廣告料 一行十二字計五十銭
日刊 日曜祝祭日 翌日休刊

煉炭 各種 特價販賣
豆炭
薪炭大暴騰ノ折カラ御家庭ノ經
濟燃料トシテ御勵メ致シマス
平 驛 前
阿部石炭商店

忘年会 新年會
是非 小瀧
常磐線湯本驛
鐵道指定旅館
小瀧温泉
電話小名濱〇三

モーター 修理販賣
變壓器
平月見町
佐藤鐵工所
(電話二八二)
◎事務員募集可成簿記に經驗あるもの

お洋服は今が買時です
生地は優秀、柄は流行、而も値段は超安値...
此の三拍子揃った弊店の勉強振りをあたためし
然も仕立はお誂へと同様 寸法は特別に各種取
揃へ...必ず御満足の裁ける當店自慢の大サ
洋服店 **正礼堂**
本町三丁目(梅原米穀店隣)
電話四三六番

移轉お知らせ
毎度御負下され深謝致します、弊店僕今回...
●平市三丁目日本通り目抜の場所
に移轉致しました、更に御客様本位に働む覚悟
で御座いますれば何卒倍舊の御聲援の程備へに
懇願申し上げます
電話九九番

和洋鋼鐵金物問屋
久金屋商店
諸橋久太郎
電話九九番

シモヤケ家傳藥
是までシモヤケは暖かくなれば治らぬ
ものご諦めて居つたのが一日二、三日の
御使用でクツれたシモヤケも治れた様に
治ります。
現今の塗薬と異り、毒法により根本から除去するも
のがあります。シモヤケは寒さの爲になるもので
塗薬では決して治るものではない、又クツ
レタシモヤケに塗薬では塗布と同時に痛みを感じ
たりカニヤケを増したり致しますが、此薬は無刺戟
の中に心地良い巻法により皮下の血行を良くし幼
き御子様方にも喜ばれて如何にクツレタシモヤケ
でも完全に全治致す事を保證致します。
是非一度御試下さい。
東京市丸井邦寶堂
福島 兩縣特約販賣 **伊藤石炭店**
茨城 平市一丁目 電話三四九番

四倉信用
如何に戦時下にあろうとも
た不景氣風がうそを吹き

油と味噌
鹽屋
福島縣平市
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

普膿症 根切藥 **快鼻湯**
本劑は幾多の藥劑あり、雖他藥の及ばざる
良藥で、左の病状の方は一時も早く服用
され快癒せん事を御奨め致します
普膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症
頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。
◎其他鼻骨彎曲並に中耳炎は偉大なる神効ありと實
證されて居ります
磐城國平市一丁目
快鼻湯製造元 **水野藥局**
責任製劑者 藥劑師 水野清一
電話六九九番

花柳病科 專
泌尿器科 專
皮膚科 專
診療 午前八時
午後二時
時間 午後二時
平市田町 電話
入院 隨意
江尻 醫院
醫學博士 尻伊三